

# 經營戰略

テーマ

お客様第一主義の再構築 ⇔ <sup>ふるさと</sup>故郷の再発見  
2010年4月～2015年3月（計画期間5年間）

期間

第一フェーズ  
2010年4月  
～2012年3月

県内マーケットの徹底した調査・深耕により  
成長基盤の礎を再構築

第二フェーズ  
2012年4月  
～2015年3月

環境適応に向け進化した人材とICTにより  
総合的に地域貢献する銀行グループの実現

基本方針

1. 健全かつ強靱な経営体質の戦略的向上
2. 地元のお客様との稠密な取引の拡大・深化
3. 主体的で創造性豊かな人材の育成

# 九州新幹線全線開通後の状況

2011年3月全線開通

関西方面との時間距離が短縮

熊本⇔博多  
最速33分



開通後6カ月の利用実績

- 熊本-博多間は、前年比で38%増の約450万人が利用
  - 熊本-鹿児島中央間も64%増
  - 大雨だった6月を除き、月を追うごとに増加傾向
- ※JR九州発表

交流人口の増加・活発化

観光客の動向

■県内主要宿泊施設の宿泊者数 (2011年6月～9月) ※熊本県調査

国内客	前年比増減率	+8.5%
うち関西以西から		+51.4%
海外客		▲19.1%
合計		+4.9%

関西以西中心に観光客が増加

# 九州新幹線全線開通後の関西戦略

## ひろしまビジネスマッチングフェア2011

【開催日】: 2011年9月15日

- 協力銀行として参画
- 地元企業の出展支援
- 中国・四国・関西地区の企業が参加

## ネットワーク商談会in大阪

【開催日】: 2011年10月20日

- 共催銀行として参画 (※九州地銀当行のみ)
- 当行取引先20社の出展を支援
- 関西地区の企業38社が参加

## 2012くまもと産業ビジネスフェア

【開催予定日】: 2012年2月16日・17日

【主催】: 当行、熊本産業文化振興(株) 【協力】: 中国・関西地銀

- 関西企業(発注企業)の参加募集について、地元地銀へ協力を要請
- 関西地区の製造業と県内企業とのビジネスマッチングを支援

関西以西(新幹線沿線)の地方銀行との連携強化  
関西地区(新幹線沿線)の有力企業との情報ネットワーク構築

**県内取引先の販路拡大支援・関西地場企業との取引実現**

# 熊本市の政令指定都市移行

2012年4月1日 政令指定都市誕生

今後予想される社会インフラ整備等

■市道と併せた国・県道の整備

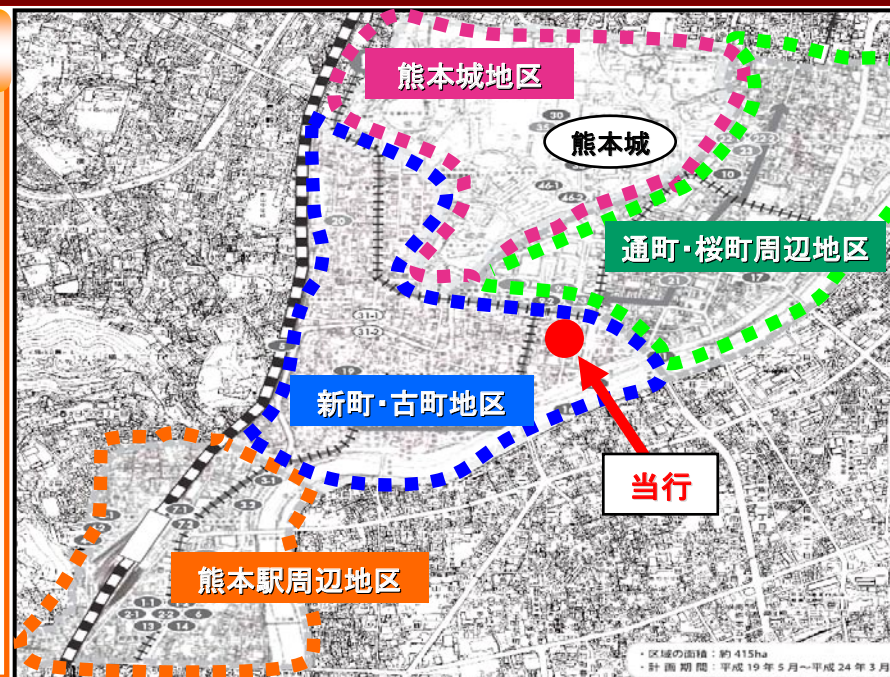
市内交通基盤の整備

■区割り行政の体制整備

区役所施設の建設

■コンベンション施設整備

学会等増加に伴う宿泊施設整備



熊本市は、中心市街地活性化基本計画で、「熊本城地区」「通町・桜町周辺地区」「熊本駅周辺地区」「新町・古町地区」の4地区の再開発に着手（総面積約415ha）

当行は「新町・古町地区」に位置

当行は創立90周年を迎える2015年での本店建替えを計画

コンセプト～「自然との共生、環境との調和」

# 「故郷の再発見」への取組み事例①

## 観光業への支援

■ 観光客減少に伴う、地域観光業の低迷



### 地域振興の課題

水俣市

豊富な観光資源を有する  
水俣「湯の児温泉」の活性化

■ 観光資源の有効活用  
温泉、釣り、果樹園



### 行政の支援

水俣市

補助金・周辺整備

### 事業譲渡

民間企業

旅館の事業再生

### 運営・営業支援

外部専門家

人材派遣・営業戦略策定

### 資金供給

肥銀キャピタル

地域活性化ファンド

A旅館

客室数:54室

11年3月

民事再生法適用

### 資金供給

当行・政策金融公庫

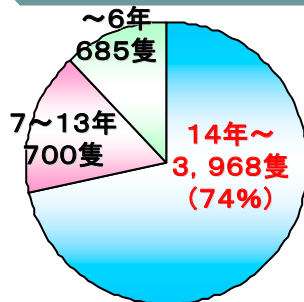
協調融資

連携して行政の課題解決を支援 ⇒ まちおこし・地域づくり

# 「故郷の再発見」への取組み事例②

## 内航海運業への支援

'10年度 国内船齢別隻数



老齡船の  
増加問題

※日本内航海運組合総連合会

### 調査・分析 当行

- 重要な輸送手段
- 上天草市での位置付け

上天草市における海運業の状況

	推計値	構成比
海運業売上高	約140億円	約21%
海運事業者数	114社	約6%

※上天草市議会議事録  
※熊本県市町村別所得推計

専門知識提供  
海事事務所  
契約関係の助言

連携

資金供給  
当行  
融資・経営課題の把握

連携

税務知識提供  
税理士  
税制面の助言

連携して新船建造資金提案

新船建造ニーズ

B社  
地場内航海運業者



地場産業の深堀調査と連携により資金供給 ⇒ 産業の活性化